Poster Presentation

Sat. Nov 1, 2025 1:00 PM - 1:50 PM JST | Sat. Nov 1, 2025 4:00 AM - 4:50 AM UTC | venue(Kanamori sangyo hall)
[P1] ポスター発表 #1

[P1-42] 犯罪と関連するリスキーな行動軌跡抽出の試み：グラフ解析を用いたアプローチ

*Tomoya Ohyama[1], Yuuki Nakano[2] (1. The University of Tokyo, 2. GeoTechnologies, Inc.)
Keywords：地理的犯罪分析、グラフ解析、人流データ、犯罪予防、安心・安全

深夜において，駅から自宅への帰路が1㎞以上ある場合や，帰宅途中にコンビニエンスストアに立ち寄るなどの行動が，性犯罪被害のリスク要因として指摘されている．本研究では，大規模人流データを用いて，実際に女性が深夜帯にどの程度リスキーな行動をとっているのか，都市部，郊外部などに分けて分析を行う．分析にあたっては，人の移動の軌跡を，職場や駅，自宅をノード，移動経路をエッジとしたグラフで表し，グラフ解析アプローチによって特徴量化する．これにより，深夜帯の女性の移動を「点」ではなく「線」で，かつ定量的に把握することができる．あわせて，女性に対する性的な被害が多い地区と，犯罪学理論からみたリスキーな行動が集積する地区のオーバーラップを確認し，実際にどのような移動の軌跡をたどることが，より危険なのかを把握する．

©一般社団法人地理情報システム学会